

音楽科におけるアプリケーションの活用

作成者 榎田真悠子

音楽創作の授業や、音楽編集の面でアプリケーションを活用した。
演奏技術に左右されず創作活動ができる、多重録音を活用して少人数でも合奏が成り立つという点で、メリットがあった。

- chromemusiclab (<https://musiclab.chromeexperiments.com/>)

Googleアプリケーションであり、インターネットが繋がっていればダウンロードをせずに使用ができるため、端末に左右されることがない。

作った作品のリンクが残るため、再度作り直したり、共有ができたりという点が便利。

(具体的には、生徒の端末で授業後も創作が続けられた、共有がうまくできない場合でもリンクさえ送ることができれば、こちらで操作が可能だった。)

メロディを作る、リズムを作る、コードならすとといった各分野に分かれており、目的にあった活用ができる。

具体的には、

- 小学5年生の和音の学習で Arpeggios 及び CHORDS
- 中学部の旋律作りで MELODY MAKER

などを使用した。

- GrageBand

多重録音に使用している。

また、弦楽器や和楽器の演奏体験ができる項目があり、実物がない楽器の擬似体験ができる。

少人数であったり、楽器の数が少なかったりといった、日本人学校特有の困り感が緩和できると考える。

- capcut

多重録画の編集に使用。

タッチ画面で感覚的に操作ができる。

大人数での一斉演奏が難しい状況でも、ボリュームのある合奏・合唱に近づけることができる。